

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和元年 12 月

海老名市立海老名中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

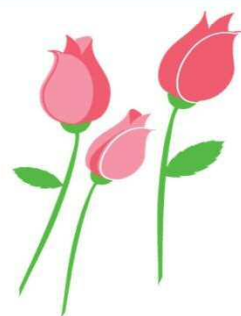
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年 4 月 18 日（木）



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
- ・封筒の書き方を理解して書く
- ・話合いの話題や方向を捉える
- ・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
- ・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
- ・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
- ・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを明確にしながら根拠を示すことができます。
- 文章の展開について、構成に着目しながら内容を捉えることができます。
- 封筒の書き方を理解し、適切に書くことができます。

◆課題のある点

- 相手に分かりやすく伝わる表現についての理解に課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- スピーチやプレゼンテーション、ディスカッションやディベートなどの活動を通して、話の構成から言葉を選び、表現する力を伸ばします。
- 気になる表現や言葉に着目し、発表し合うなど、語彙を増やす活動を取り入れ、多様な言葉に触れる機会をより多く設けます。
- 自分の考えに理由づけすることがよくできることがわかりました。さらに、自分の考えを、交流を通して他者に共感してもらえたり納得してもらえたりする活動を通して、語彙を増やすだけでなく、説得力のある伝え方を身につかせます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数の集合と四則計算の可能性について理解している
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
- ・平行移動の意味を理解している
- ・反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる
- ・簡単な場合について、確率を求めることができる
- ・グラフ上の点 P の y 座標と点 Q の y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
- ・反例の意味を理解している
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
- ・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
- ・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
- ・事柄が成り立つ理由を説明することができる
- ・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 図形に対する基本的な知識がきちんと身についています。
- 与えられた数量から事柄が成り立つ理由を説明する力があります。
- 数学的な結果を事象に即して解釈することができます。

◆課題のある点

- 資料の傾向を的確に捉えて数学的な表現を用いて説明することに、課題があります。
- 与えられた課題に対して、解決する方法を数学的に説明することに、課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 無解答率が少なかったことから課題に前向きに取り組むことがわかりました。授業の中から興味関心を持ち苦手や分からない問題に対しても前向きに取り組む姿勢がさらに育つよう指導を工夫します。
- 基本的な計算力があります。その力をさらにつけるために、既習内容の復習をすることで確実な計算力を身につけさせます。
- 与えられた課題に対しての解決方法を身につけるために、グループ学習を積極的に取り入れて、グループの中での意見交換を活発に行えるように工夫します。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
- ・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
- ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
- ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
- ・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる
- ・一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
- ・一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
- ・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
- ・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 言語や文化についての知識・理解の観点において、接続詞、主語に対応する動詞および動詞の時制を問う問題、肯定文、否定文等についてはよく理解しています。
- まとまりのある英文の資料を理解し自分の考えを示す問題において、無解答率が低いことから、内容を理解し、自分の意見を英語で述べようとする意識が高いと言えます。

◆課題のある点

- 自分の考えや意見を記述する問題については、まとまりのある文章を書くことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- まとまりのある英文を読んだり聞いたりして内容を理解する力をつけていくために、適切な分量の様々な英文に触れる機会を増やしていくよう工夫します。
- 理解した英文の内容に対して、自分の考えを記述するという力を伸ばすために、一問一答のような英作文だけではなく、まとまりのある英文を書く機会を増やしていきます。教科書の本文の内容を、言い換えたりする活動や、図や絵を見て説明をしていくような活動を取り入れながら、既習英文を自在に組み合わせて自分の考えを表現する力を伸ばしていきます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の質問では、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。」と答えた生徒は全国平均より、7.3 ポイント上回りました。
- 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の質問では 92.7%の生徒が肯定的な回答をしています。全国平均より 7.3 ポイント上回りました。

◆本校の課題と思われるところ

- 「読書は好きですか」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は全国平均より 9.7 ポイント下回りました。
- 「国語の勉強は好きですか。」の質問では、全国平均を大きく上回りましたが、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。」という質問に対しては、「学んだことをあまり活用できていない」という回答の数値が全国平均より 4.8 ポイント上回りました。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒が、全国平均より 5.9 ポイント上回りました。学校生活が充実していることがうかがえます。
- 「人が困っているときは進んで助けていますか。」の質問では、「当てはまる」「どちらかという」と当てはまる」と答えた生徒は 88.9%という結果でした。全国平均より 3 ポイント上回りました。

◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は全国平均より 9 ポイント下回りました。また「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。」では肯定的な回答をした生徒は全国平均より 4.6 ポイント下回りました。

今後の具体的な取組について

- 学習の始めに本時の目標を明確に伝え、目的意識をもった授業の展開ができるようにしていきます。また、グループ学習の中で、自ら発言する機会を増やしたり、他の人の意見を聞いて考えを深めたりするようにしていきます。
- 学校生活全体を通して、互いを認め合える人間関係を構築して、自己有用感が高まるよう一人ひとりの生徒を大切に指導を心がけていきます。

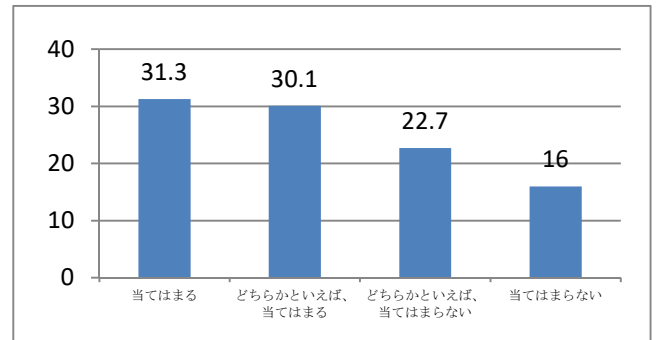
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1

将来のことや目標について語り合しましょう。

夢や目標を持つことは、今すべきことが明確になり自分を前向きにさせます。目標を達成すると自分に自信が持てます。また、目標達成を積み重ねると夢への実現につながります。

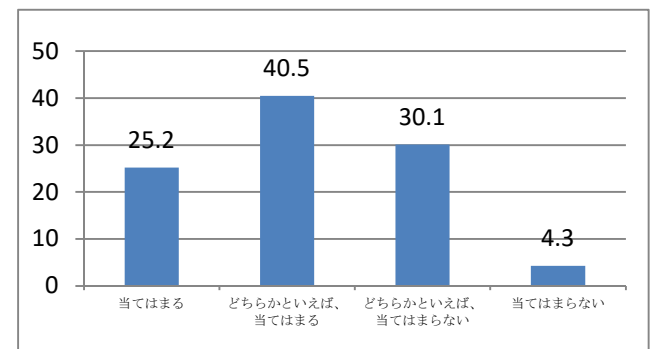


将来の夢や目標を持っていますか。

2

様々なことに積極的に挑戦しましょう。

「失敗は成功のもと」という言葉があります。もし、失敗してしまったとしても、学ぶことは多くあります。その学びが成功への道だと思えます。また、挑戦しなければ、成功も失敗も経験はできません。様々なことに積極的に取り組みましょう。

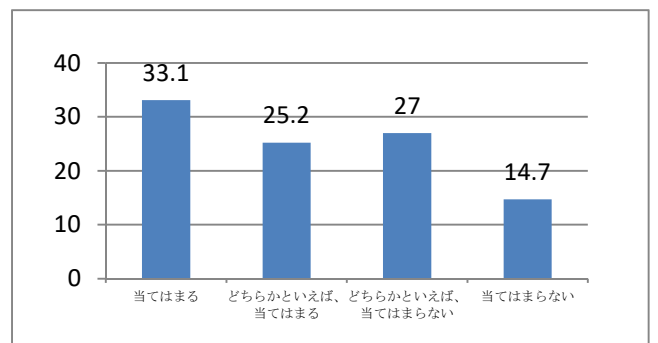


難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

3

本を読みましょう。

「本は知識の宝庫」と言われています。本からさまざまな情報を手にしたり、自分の考えを深めたりすることができます。本を読むことで心が豊かになり成長につながる 경우가多くあります。生活の中で、本を読む時間を多くつくってみてはいかがでしょうか。

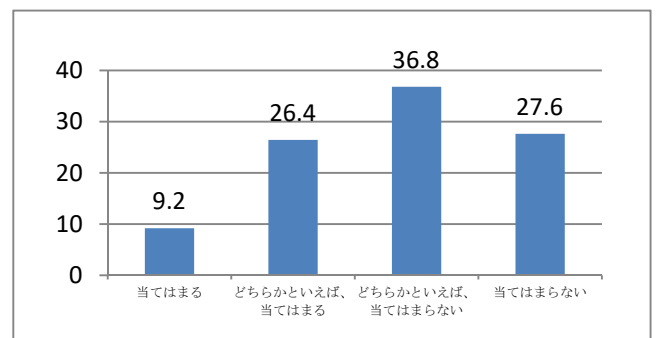


読書は好きですか。

4

地域に関わるようにしましょう。

地域主催の行事などに参加しましょう。私たちは地域の一員です。行事などに参加し、地域の方とコミュニケーションを図り、地域の絆を深めましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係